

小浜市長と小浜市議会が合同で中央要望を行いました 小浜市役所のエレベーターで新幹線全線開業を活かしたまちづくりをPR中！



右から高木与党PT北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会委員長、小澤市議会議長、斉藤国土交通大臣、松崎市長、下中市議会北陸新幹線特別委員会委員長

2月9日、東京都内において、松崎小浜市長と小浜市議会が合同で北陸新幹線の早期全線開業を求める中央要望を行い、斉藤鉄夫国土交通大臣に要望書を提出しました。

要望では、敦賀・新大阪間の環境影響評価を沿線地域の意見を踏まえながら迅速

かつ着実に進め2022年末までに終了すること、敦賀・新大阪間について、2023年度当初には着工できるよう早期に財源を確保し、2030年度末頃（北海道新幹線・札幌開業）までに新大阪までの全線開業を実現すること、JR小浜線は経営分離される並行在来線には該当しない旨の国の考えを確認することの3点を求めました。

このほか、与党整備新幹線建設促進プロジェクトチームの国会議員ら8人にも要望書を提出しました。

2月7日から小浜市役所正面側エレベーターの内扉に北陸新幹線啓発シールを貼り付け、北陸新幹線全線開業を活かしたまちづくりをPRしています。

小浜市役所にお越しの際は、ぜひご覧ください。



小浜市役所正面側のエレベーターの内扉